

## 2 教育計画

# 校 訓 「 じん りょく ひつ せい 力 必 成 」

### (1) めざす児童生徒の姿

- ・社会で生きていくために必要な知識・技能を身に付ける。〈知識・技能〉
- ・自ら考え、行動し、自分の思いや考えを表現する。〈思考力・判断力・表現力〉
- ・自ら学び、仲間と共に高め合える。〈学びに向かう力・人間性〉

### (2) 重 点 (◇は重点目標、◎は本年度の重点項目)

	重 点
学校経営	<p>◇児童生徒の「命」と「人権」と「学ぶ権利」を守り抜き、安全・安心で愛情に満ちあふれた楽しい学校にする。</p> <p>◇全教職員が、「チーム関特支」として「明るく・楽しく・元気」に協働し、めざす児童生徒の姿を実現する活力ある学校にする。</p> <p>◎児童生徒が安心して登校できる環境を維持するとともに、各行事、日々の授業の在り方について工夫を重ねて教育活動の充実を図る。</p> <p>◎学習指導要領の理解を深め、それぞれの教育課程における教育内容の充実を図る。</p> <p>○「教えることは学ぶこと」の意識を涵養し教職員一人一人の授業力や専門性の向上を図る。</p> <p>○学校ホームページ等を活用し、保護者や地域へ当校の取組を発信するとともに、地域の関係機関との連携を深め、肢体不自由や病弱のある児童生徒の教育ニーズを的確に把握し、当校とのネットワークづくりを行う。</p> <p>○働き方改革プラン2025に基づく、教職員のライフワークバランスの充実を図る。</p>
研 修	<p>◇特別支援教育に携わる教職員としての豊かな人間性と資質を養い、専門的な知識と能力及び実践力を高める対話的研修の充実を図る。</p> <p>◎児童生徒の健康・安全を守るための研修、特別支援教育の専門性向上のための研修、授業における指導力向上のための研修、社会の変化に伴う諸課題を解決するための研修等、学校の課題に応じた校内研修を計画的・組織的に行う。</p> <p>○一人一人の教員が、自らの課題を明確にし、教職員の対話を通して課題解決のために学び合う文化を育む。</p>
教科指導	<p>◇思考力・判断力・表現力及び自ら学び考える力を育成するとともに、基礎的な知識・技能の定着を図り、一人一人に応じた指導を推進する。</p> <p>◎児童生徒が学部や類型、学校を超えた多様な他者や集団との関りやつながりの中で協調や協働し、自己の課題や役割と向き合うことができる学習を推進する。</p> <p>○自発的な学習を促すよう、ICTの活用や体験的な学習を重視するとともに、発達段階や障がいの状態に応じた指導内容や指導方法、評価、教材・教具等の工夫改善に日々努める。</p>
道徳教育	<p>◇強く明るく生きようとする意欲とあたたかい人間関係を育てる指導を推進する。</p> <p>◎自己を見つめる力や社会生活上のルールを身に付け、強く明るく生きようとする指導に努める。</p> <p>○他を思いやり、励まし合うなど、心のふれあいを大切にしたい指導に努める。</p>
特別活動	<p>◇所属感を高め、よりよい生活や望ましい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる指導を推進する。</p> <p>◎学級活動や児童生徒会、委員会活動等を通して児童生徒の主体的な活動の充実を図り、望ましい人間関係の育成や自主性を育てる指導に努める。</p> <p>○学校間の児童生徒や地域の人々との交流及び共同学習を行い、社会性や豊かな人間性を育てる指導に努める。</p>
自立活動	<p>◇障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、自立を目指す指導を推進する。</p> <p>◎児童生徒が、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲を高めることができるよう、指導内容や指導方法の工夫・改善に努める。</p> <p>○一人一人の的確な実態把握に努め、児童生徒の教育的ニーズや保護者のニーズを踏まえ、理学・作業療法士や言語聴覚士及び関係機関等と連携しながら、「個別の指導計画」に基づいた指導の充実を図る。</p>

外国語活動（小学部）	<p>◇外国語を通して、日本と外国の言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。</p> <p>◎外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験することで、積極的に外国語を聞いたり、話をしたりする態度が育つように努める。</p> <p>○様々な国の食生活や遊び、習慣、行事等を取り上げることで、我が国と外国の文化の違いに気付き、文化の多様性を理解できるように努める。</p>
総合的な学習（探究）の時間	<p>◇よりよく問題を解決しようとする資質や能力を育てる指導を推進する。</p> <p>◎学習した知識や技能等を相互に関連付けて問題を解決する資質や能力が身に付くように、一人一人の障がいの状態に応じた体験的・問題解決的な学習活動の充実に努める。</p> <p>○学習活動を評価し改善できるよう、一人一人の学習の状況や成果を把握して指導・支援に努める。</p>
生徒指導	<p>◇児童生徒との信頼と愛情、家庭との連携を基盤とし、基本的生活習慣や望ましい生活態度の育成を図り、目標に向かって努力する意志や態度を育てる。</p> <p>◎自主的に判断して行動し、自らの行動に責任をもつ態度や積極的に自己を生かす力を育てるための指導に努める。</p> <p>○一人一人が安心して充実した学校生活を送れるよう、障がいの状態を正しく把握し、全校体制による教育相談の充実に努める。</p>
進路指導	<p>◇自己の在り方生き方を考え、主体的に選択決定をする能力や態度を育てる指導を推進する。</p> <p>◎社会参加・自立を目指して家庭及び地域や福祉・労働等関係機関と連携した進路指導・就労支援体制の充実に努める。</p> <p>○「個別的教育支援計画」及び「個別の移行支援計画」を活用し、児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育を推進する。</p> <p>○一人一人の能力や適正を伸ばし、将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択ができるよう、積極的な情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンス機能を充実する。</p> <p>○地域や産業界との協力・連携により進路体験実習を積極的に実施し、社会的・職業的自立に向けた実践力を育てる。</p>
健康教育	<p>◇自ら進んで健康で安全な生活を送る態度を育てる指導を推進する。</p> <p>◎日常の健康管理や医療的ケア、突発的な事故、感染症、災害等、健康・安全に関する指導を行い、健康被害や事故災害の未然防止を目指した安全教育に努めるとともに緊急時の救急体制を充実する。</p> <p>○児童生徒の障がいの状態や心身の健康状態を的確に把握し、指導内容の重点化と領域相互の関連を図った指導の充実に努める。</p>

### （３）各部のめざす児童生徒の姿

各部等	めざす児童生徒の姿
小学部	<p>◇健康に過ごし、基本的生活習慣と知識を身に付ける。〈知識・技能〉</p> <p>◇興味・関心を広げ、自分の思いや考えを表現する。〈思考力・判断力・表現力〉</p> <p>◇主体的に物や人に関わり、好きなことを増やし、仲間と楽しく活動できる。〈学びに向かう力・人間性〉</p>
中学部	<p>◇生活リズムを整えて元気に過ごし、学んだことを生活に生かす力を身に付ける。〈知識・技能〉</p> <p>◇見通しや課題意識をもって行動し、自分の思いや考えを表現する。〈思考力・判断力・表現力〉</p> <p>◇主体的に物事に取り組み、自分や仲間を大切にできる。〈学びに向かう力・人間性〉</p>
高等部	<p>◇社会で生きていくために必要な知識・技能を身に付ける。〈知識・技能〉</p> <p>◇自ら考え、行動し、自分の思いや考えを表現する。〈思考力・判断力・表現力〉</p> <p>◇自ら学び、仲間と共に高め合える。〈学びに向かう力・人間性〉</p>